

令和 7 年度 市政改革室運営方針

(所属長 : 平澤 宏子)

「目標」「使命」及び「所属運営の基本的な考え方」	
目標	社会状況の変化による本市の行政課題に的確に対応しつつ、デジタル技術や新たな事業手法などの活用により、「未来へつなぐ市政改革」の実現をめざす。
使命	市長直轄組織として、市政改革の推進に係る総合調整、進捗管理及び指導のほか、行財政改革に係る企画及び立案並びに推進を行うなど、市政改革の推進エンジンとして機能する。
令和 7 年度 所属運営の 基本的な 考え方	「新・市政改革プラン」に基づく市政改革を着実に推進する。このため、所属マネジメントの支援を行うとともに、市政改革の必要性、取組内容や成果について、組織内外への効果的な情報発信を行う。 ■新・市政改革プラン～未来へつなぐ市政改革～ 以下の6つの取組方針に基づき、関係所属との連携強化や既存の戦略等により未来へつなぐ市政改革を着実に推進する。 1 DXの推進 2 官民連携の推進 3 業務改革の推進 4 働き方改革 5 ニア・イズ・ベターの徹底 6 持続可能な行財政基盤の構築

重点的に取り組む経営課題

経営課題 1 「新・市政改革プラン」の着実な推進

		5 決算額	8 百万円	6 決算額	11 百万円	7 予算額	4 百万円
課題認識	市政改革の推進に向け、本市行政を取り巻く状況の変化に応じた適切な進捗管理や関係所属との連携強化により、「新・市政改革プラン」の取組を着実に進めていく必要がある。						
主な戦略 (課題解決の方策)	1. 「新・市政改革プラン」の取組項目を所管する関係所属と連携した適切な進捗管理 2. 「新・市政改革プラン」において当室が所管する項目の取組推進						
アウトカム 指標 (経営課題の解決に向けた 進捗度合を示した指標)	「新・市政改革プラン」に定めた目標の達成率 令和 7 年度末 80%						
アウトカム 指標の達成状況 (定量評価)	7 年度実績と達成状況 ※A：達成 B：未達成					前年度実績	
	90.5%					A 82.6%	

経営課題2 業務の効率化と質の向上（タイムマネジメント）と業務改善の取組

5決算額

— 円

6決算額

— 円

7予算額

— 円

課題認識

将来的な労働力不足が見込まれている中、限られた行政資源を最大限に活用し、効果的・効率的に行政運営を行うため、職員一人ひとりが時間をより効率的に使い業務効率を向上させるとともに、真に取り組むべき業務に集中できるよう、業務の改善や簡素化・効率化等に取り組む必要がある。

当室は本取組の所管所属として、率先してタイムマネジメントや業務改善を実践・推進していく必要がある。

主な戦略
(課題解決の方策)

室内各担当における業務改善計画の策定・実施

アウトカム
指標
(経営課題の解決に向けた
進捗度合を示した指標)

業務改善計画に掲げる目標を達成した担当数 4担当/5担当

アウトカム
指標の達成状況
(定量評価)

7年度実績と達成状況 ※A：達成 B：未達成

前年度実績

5担当/5担当

A

未測定

自己評価
(運営方針全体の
定性評価)

経営課題1については、適切な進捗管理や関係所属との連携強化により、継続して、市政改革の取組を着実に推進することができた。

経営課題2については、室内各担当が業務改善計画を策定し、タイムマネジメントや業務改善につながる取組を実践した結果、職員一人ひとりの改革意識が高まり、業務の効率化を推進できた。あわせて、全担当が計画に掲げた目標を達成することができた。

総じて、「新・市政改革プラン」で掲げている「未来へつなぐ市政改革」の実現に寄与することができた。

今後の方針

今後も少子高齢化の進展など社会状況の変化に伴う新たな行政課題に対処する必要があるため、引き続き「新・市政改革プラン」の取組を推進し、誰もが安心していつまでも住み続けたいと思う「にぎやかで活気あふれるまち大阪」の実現をめざしていく。